



NEWSLETTER

ドローンX ニュースレター

14-JAN-2026

Edition 0035

最新DJI

農業ドローン機実演会開催

DJI最新農業機&

運搬機を披露



2次代理店であるドローンXにて様々なお客様や関係者を招待して、開催したという形。全国ツアーは47都道府県で開催していくそう。今回は総勢30名強の参加があった。

T25Pの展示と

T70P説明とデモ飛行

株式会社セキドの糸野氏が説明してくれた。まずはDJIの開発能力の高さの説明があり、最新農業ドローン機が自動化の新たなチャレンジに向かっていていること。農業、稲作だけでなくあらゆる



農業に実用性が出てきたこと、また農業以外での利用もチャレンジに含まれていることの説明があった。まずはT70Pの実演。この大きな機体を説明会場からスイッチ一つで自動でフライトする姿が圧巻であり、デモ用の水を広範囲にしかも効率よく、確実に散布する姿を見た。今までの機体と比べものにならないほどの散布量が肌でわかる。



最新農業ドローンの性能

T25PはT70Pより先に発売になっているが、T70Pの開発された機能も、今後のアップデートでT25Pに反映される。したがってT70P

の最新の情報を知ることです。サイズこそ違うがT25Pの進化も知ることができる。サイズや効率を考え、機種を選ぶ。もちろんT70Pの方が最大積載70kgと大型だ。T70Pを中心に説明された。



10アールの面積をわずか6分23秒で散布

T70Pは10アールの面積に140リットルの薬液を散布する時間は6分23秒だ。しかも自動設定で数個のボタン操作だけで最高の作業効率を発揮する。さらに設定した内容で実際に散布される薬液量が事前に把握できる。目的を達する為に必要な機能として進化し

た。散布という行為そのものではなく、対象の面積にどれだけの量を確実に散布されるかが大事。実際に現場で必要とされる機能だ。

操作性の向上

プロポの画面がマルチに

プロポの画面がマルチに進化した。プロポに全体の飛行経路を示すメイン画面に、「真下だけ写す画面」「ジンバル式で進行方向にも変更できる画面」が増え、マルチな情報が手に入る。ミリ波レーダーもついていることも説明があり、今まで以上に安全な飛行が可能となった。



AR機能が付加され**より安全に安心な飛行を**

マルチ画面の中に、様々なシーンでAR機能が付加された。

AR（エーアール）とは

Augmented Reality（拡張現実）の略で、現実世界にデジタル情報（CG映像や文字など）を重ね

合わせて表示し、現実を拡張する技術や仕組みのことを言い、今回の機能では、マルチ画面にこれから進む進行方向が矢印で画像上に示されたり、その進行方向に危険物がある場合にはマークで警告がでたり、着陸地点が丸印でしっかりと明示される為、そこに障害物の



有無が一目で確認できるようになった。「安全」は

もちろん、操縦者が状況を予測しやすくなった為「安心感」が格段に上がった。

粒剤の散布も**大幅に改善された**

粒剤散布ではタンク内の粒剤の偏りによるバラつきが従来の課題であった。それを改善する為に新開発のオーガ「送り出し機能」を使い、散布の均一化ができるようになった。粒剤の大きさによりオーガを変える。精度の高い散布が可能になる。その実演も行った。

**自動飛行の****設定方法の実演も**

その後、実際に自動飛行を設定する方法を実演。

簡単に緯度・経度情報から飛行経路を設定でき、

障害物がある場合など明確に示される。また、自動設定だけではカバーできないなどの、特殊なエリアの散布についても、柔軟な設定方法を教えてくれた。

**T70Pの運搬能力****農業以外の活用**

前述であった、農業以外の活用法についても実演があった。T70Pで物を運搬する。実はこれにはとても重要な技術がある。この写真のように物を吊り下げて移動すると、



振り子のように物がいつたり戻ったりすることは容易に想像できる。これ

が運搬上、様々なトラブルを引き起こす原因となる。しかし、DJIは機体が止まると振り子現象が「スッ」と当たり前のよう



実演では籠に約25kgの重りが入っているが、そんな素振りを見せない。

**FLY CART100の****説明と実演**

ここまでは農業ドローンの説明と実演だが、新たに発売となった、FLY CART100の説明もあった。T70Pと同じ65kgぐらいの荷物を運搬することができ、運搬距離は700m前後目安。それがFLY CART100だと、同じ65kgの荷物をなんと5km先まで運搬できる。



デュアルペイロードシステムが圧倒的な推進力を生み、効率を上げ距離が伸びる。またウィンチシステムを備えるなど、実用性も非常に高い。実演では指定した地点間を自動操縦で運搬するデモが

行われた。

**実践を基にした経験と****サポート体制で**

メーカーであるDJI、代理店であるセキドでは、何かトラブルがあった場合の短時間でのサポートを実現することを約束している。ドローンXも農業現場でドローンを活用し、日々実践を積み重ねており、その経験を活かしたサポート体制で、これからは農業のスマート化を実現、お手伝いをしていく。これらに興味がある場合はぜひ、声を掛けて頂き、実演を見て欲しい。

